

胃がん検診に係る懇談会（令和 7 年度第 1 回）会議録

日 時 令和 7 年 5 月 2 6 日（月） 午後 6 時 3 0 分～午後 7 時 1 5 分

場 所 旭川市総合庁舎 7 階多目的室

出席者 委員 7 人

黒蔵委員、滝山委員、野村委員、馬場委員、藤谷委員、盛一委員、山口委員
（井原委員欠席）

事務局 4 人

渡辺次長、熊崎主査、秋場主査、山本主査

傍聴者 なし

資 料 ・次第

- ・資料 1 進行役の選出及び職務代理者の指名について
- ・資料 2 会議の運営について
- ・資料 3 第 1 回 胃がん検診に係る懇談会（スライド資料）

I 開会

- ・開会に当たり、山口健康保健部長の挨拶
- ・各委員の自己紹介と事務局職員の紹介

II 議事

議題 1 進行役の選出及び職務代理者の指名について

- ・胃がん検診に係る懇談会開催要綱第 4 条第 1 項の規定に基づき、参加者の互選により進行役の選出を行ったが意見がなく、事務局案を提示。
事務局案が承認され、藤谷委員が進行役に選出された。
- ・職務代理者については、進行役が滝山委員を指名し、了承された。

議題 2 会議の運営について

- ・提案のとおり了承された。

議題 3 本市の胃がん検診の手法や対象者についての意見交換

資料 3 について事務局より説明

【進行役】 スライド 1 4 にある今後の方向性について確認したいが意見等はあるか。

【A 委員】 市の方向性は基本的に胃がん検診のガイドラインに沿った内容で作られている。

検診学会等に出ているものもほぼこのアウトカムである。個人的にはエビデンスを持って実施できると思う。

- 【B 委員】 個人的には胃部内視鏡の方が良いと思う、胃部 X 線検査だけを 2 年に 1 回受診していった場合、2 年に 1 回の受診であっても胃がん検診として問題はないか。
- 【A 委員】 胃部 X 線検査でも死亡率減少という意味では効果のある検査なので、胃部内視鏡検査との併存はありだと思う。ただ、がんの発見率は 3 倍の差があり、死亡率の減少効果も胃部内視鏡検査の方が低い。
- 合併症などの問題もあるが、効率よく治る段階のがんを見つけるという意味では、がん検診を継続して受診することも大事だが、内視鏡にそれなりに力をいれて行くべきと個人的には思っている。
- 【進行役】 B 委員の指摘のとおり、胃がん検診のプラスの要素として内視鏡検査の導入、マイナス要素となり得るのが 2 年間隔の X 線検査。これに関しては、私も懸念点だと思っている。
- 札幌市は、同じ国の基準で先行して胃がん検診を実施しているが、まだデータが揃っていない状況である。X 線検査だけを 1 年から 2 年間隔にした場合の影響については、今はデータがない状況でスタートする形となるが、B 委員の意見は非常に大事なもので、今後検証していきたいと考えている。
- 【C 委員】 検診機関の立場として、優位性で胃内視鏡の方が高いのは間違いないと思う。
- ただ、旭川市では巡回検診という形で各地域に出向き、胃部 X 線検査のバスで検診を実施しており、既に定着している部分もある。検診率全体を上げていく一つの手法として、受診機会を確保するという面では、今の段階ではまだ有効な部分もあるのではと思う。
- 【D 委員】 X 線検査で毎年やっているのに進行がんで 1 年後に見つかる方が、北海道対がん協会内で数名いる。
- 遺伝的要素や合併症などがあるかもしれないが、2 年に 1 回にしたとして死亡率のデータが増加するかはわからないため注視していくしかない。
- 旭川がんセンターで内視鏡検診を受けている人で、年 1 回の受診で進行がんが見つかった症例はあまりないので、やはり内視鏡はがんの発見や早期治療につながると思う。
- 【B 委員】 食道がんはもっと早期に見つけなければいけないということもある。
- 2 回連続 X 線検査を受診するのではなく、内視鏡をぜひ、と個人的には推奨したい。
- 【進行役】 胃がん検診の実施案内の際に、内視鏡検査を推奨する文言を加えるかというところだと思うがどうか。
- 【E 委員】 旭川市の受診率上げるのがまず大事。X 線検査であれば流れ作業である程度やれる。
- 胃カメラであれば時間がかかり、患者さんもそれなら受けないとなりがちである。
- 胃カメラの方がより詳しく見られるんですよ、と推奨しつつ並記するのが良いのではないか。
- 【進行役】 胃カメラとバリウムの並記ということで伝えていくということではどうか。内視鏡を推奨する文言を追加するかどうかについてだが、他市は記載されているか。
- 【事務局】 推奨とまでは書いていないが、内視鏡がより検診効果があるという説明が入っている場合はあると思う。

- 【進行役】 客観的な数字等を出す程度にとどめているということか。
推奨というと、内視鏡の比重が多くなり受診率の低下に繋がってしまう可能性がある。
それであれば、がんに対する感度などの数字を出していくようなイメージになるかと思う。
- 【E 委員】 バリウムで要精検なら、精密検査で内視鏡をやりますよという書き方もあるのではないか。
- 【進行役】 実際バリウムの検査は効果があるということで採用されており、検診車もあるのであまり推奨したり数字を出さないほうがよいか。
- 【C 委員】 客観的な情報を適切に提供していくのは大事なことだと思う。情報を出したうえで、市民がどちらかを選択する判断材料にするというのは、必要な事だと思う。
- 【進行役】 方向性として、今回の議題である3つの項目（対象者、検査方法、受診間隔）については市案で了承ということによろしいということの良いか。
（委員一同了承）
- 【進行役】 胃内視鏡検査導入はあくまで旭川市だけの話ということでよいか。
- 【事務局】 すでに実施している町村もあるが、未実施の近隣町村は旭川市がやるのであればという話になる可能性はあると思う。

III その他

- ・事務局より次回の開催日程について、7月2日（水）の開催を予定していることについて連絡

IV 閉会